

令和2年度水稻害虫トラップ情報（8月中旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

8月に入ってから成虫誘殺数は、青森、八戸で平年よりやや多く、木造では平年並に推移している。

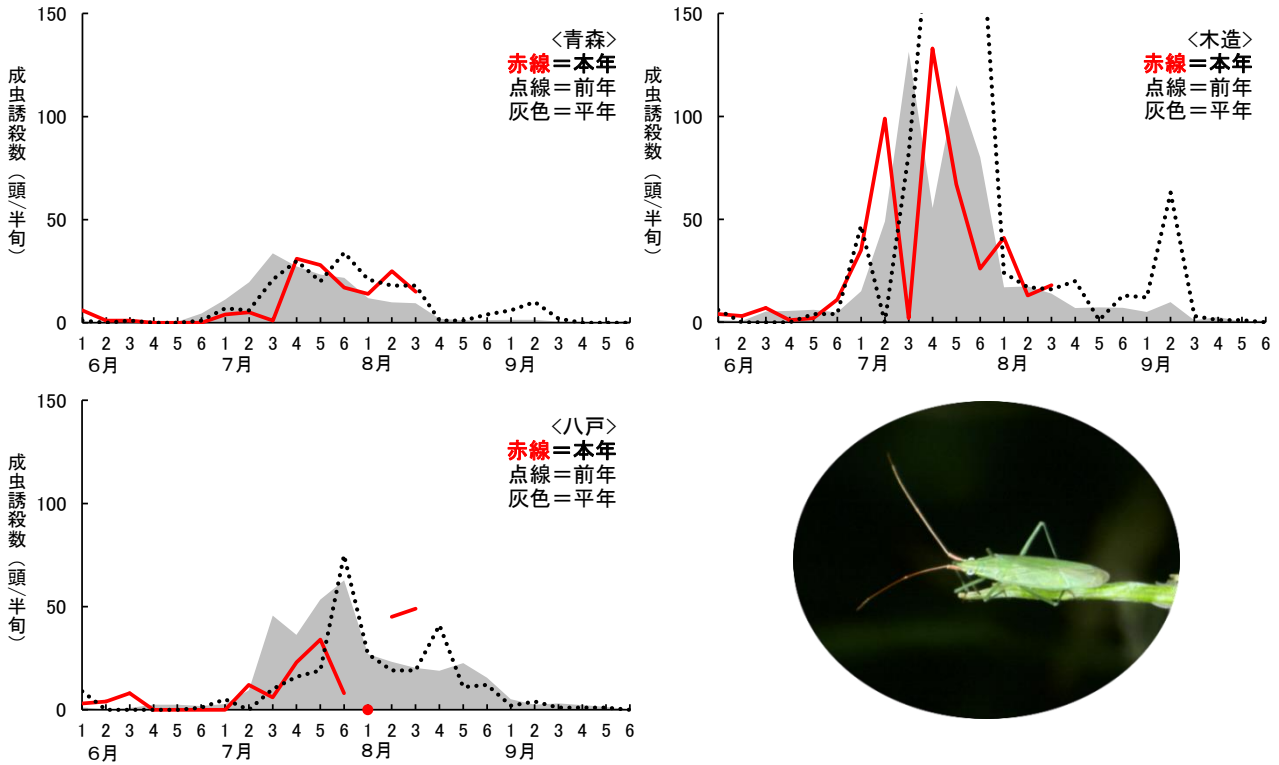


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注) ●八戸の8月第1半旬は、雷雨のため欠測

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

成虫の誘殺数は、七戸、八戸でほぼ平年並、青森、木造、鶴田、十和田で平年よりやや少なく推移している。

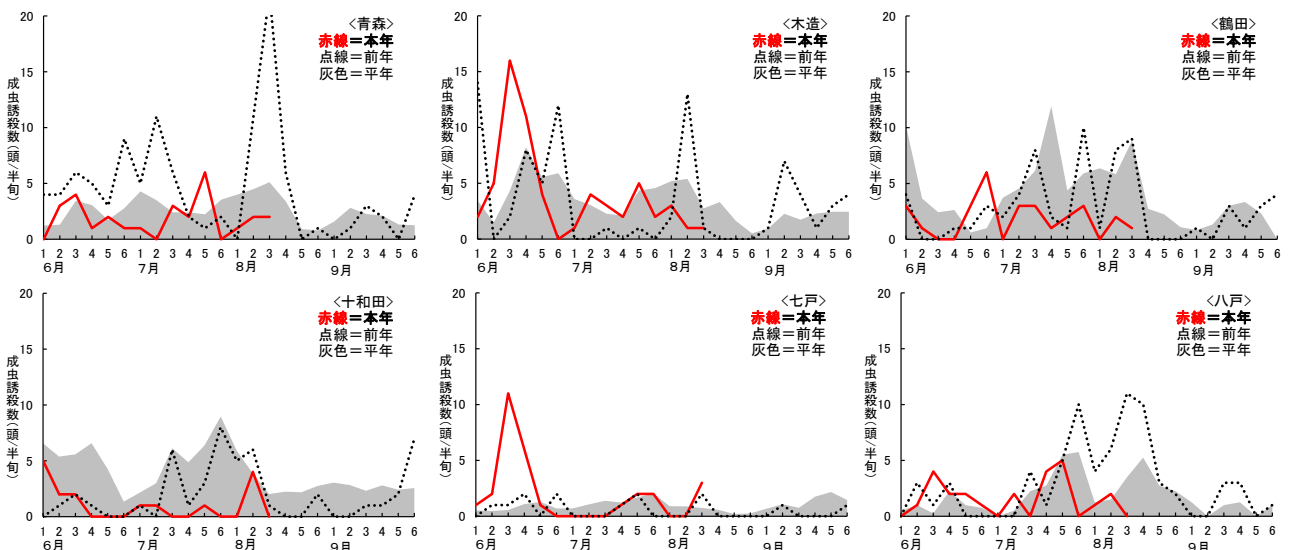


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

※平年値は、青森・十和田・七戸が前10か年、木造が前8か年、鶴田が前5年と平成22年、八戸が前4か年の平均値

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

成虫の誘殺数は、青森で平年よりやや多く、木造、八戸ではほぼ平年並に推移している。

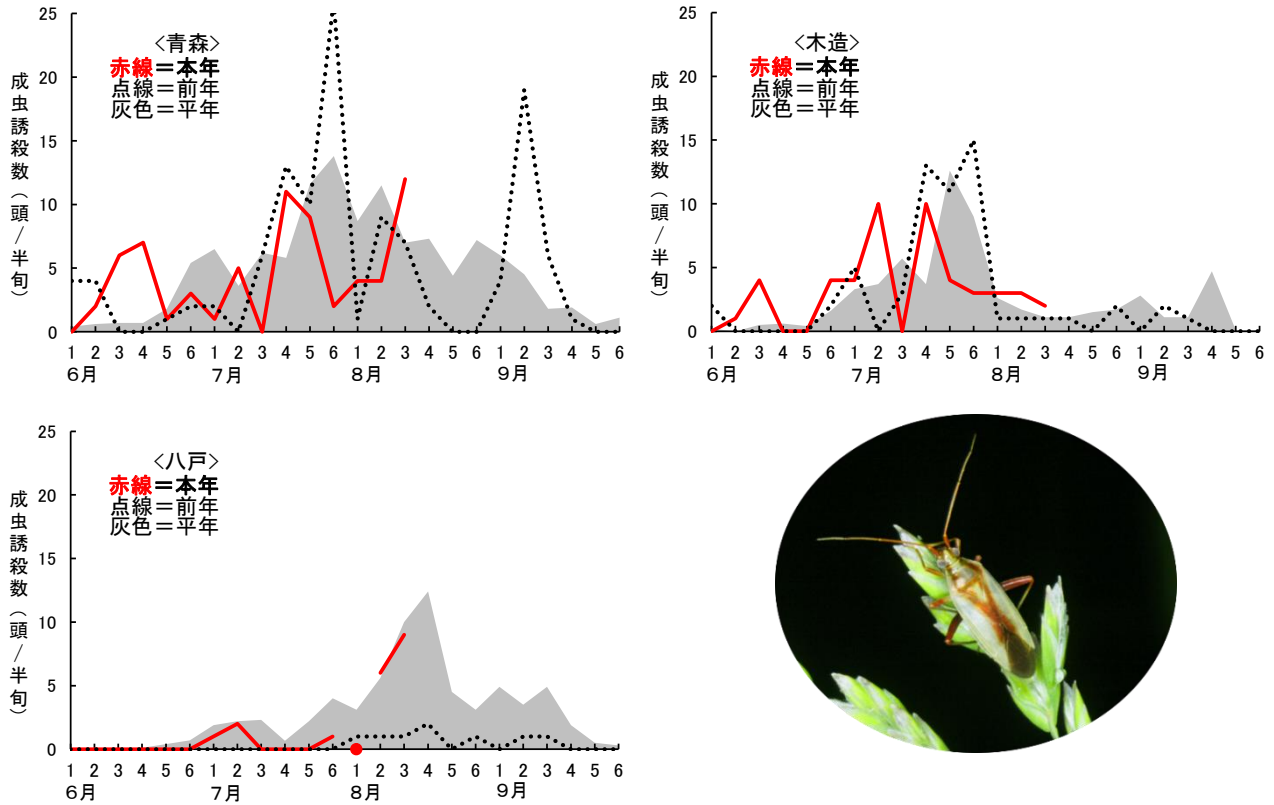


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) ●八戸の8月第1半旬は、雷雨のため欠測

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

成虫の誘殺数は、青森、鶴田、七戸、八戸で平年よりやや多く、木造で平年並に推移している。十和田では今のところ誘殺されていない。

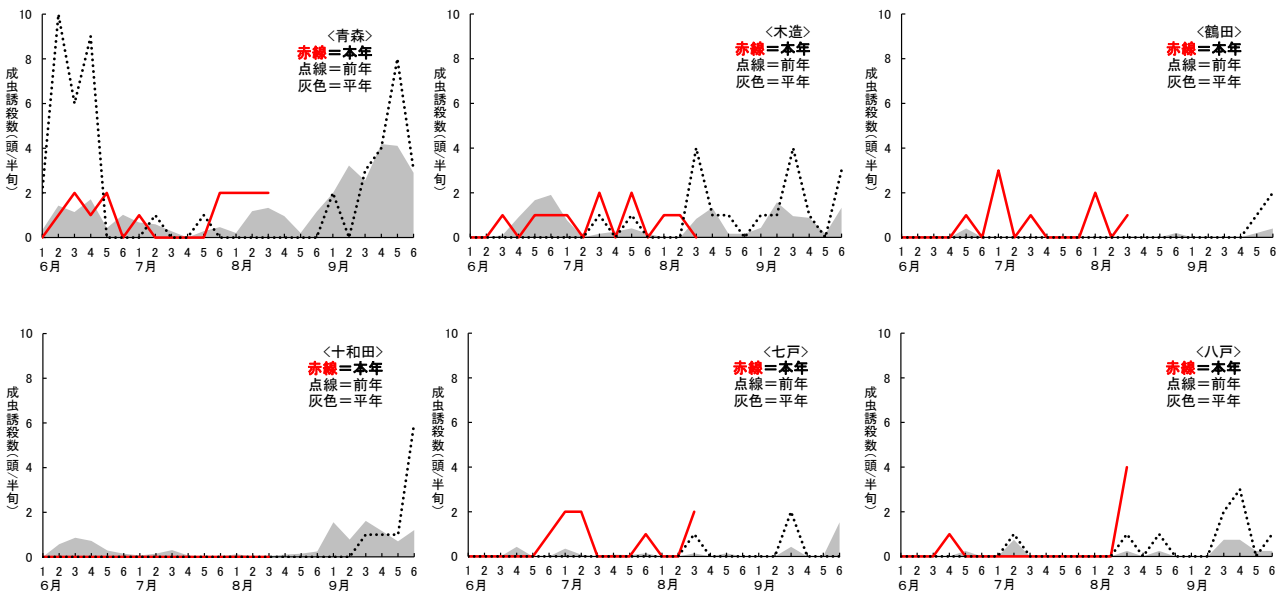


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

※平年値は、青森・十和田・七戸が前7か年、木造が前6か年、鶴田が前5年、八戸が前4か年の平均値

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第2世代成虫の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬～8月中旬に見られ、誘殺数は木造、八戸が平年より多く、青森は平年並に推移している。

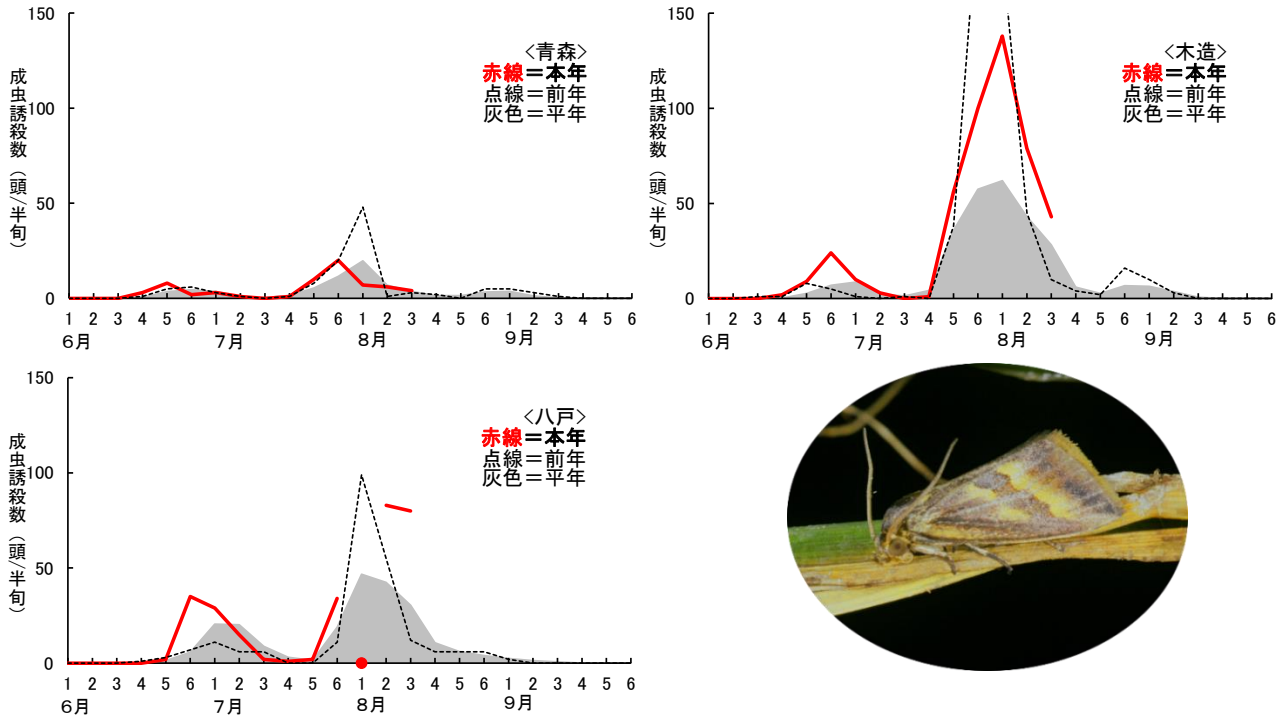


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

注) ●八戸の8月第1半旬は、雷雨のため欠測

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第2世代成虫の誘殺時期は7月下旬～8月中旬に見られ、誘殺数は木造、鶴田、八戸が平年より多く、青森、十和田、七戸は平年より少なく推移している。

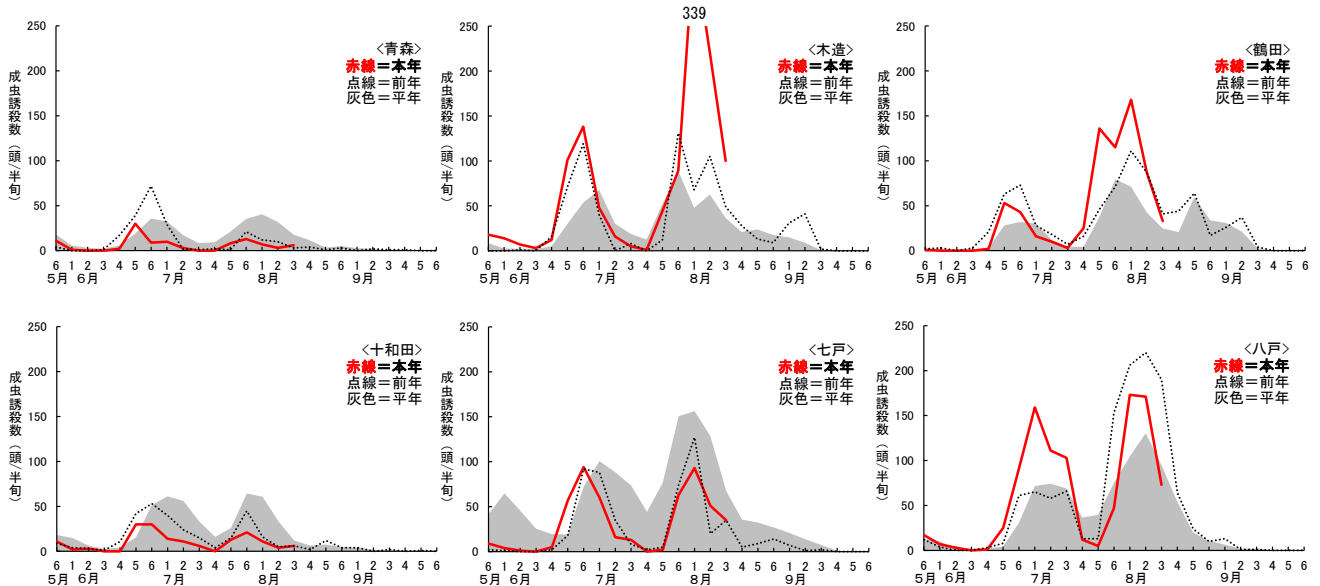


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：主幹 品川 聖也
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900